



NO.006

FAS通信

平成15年10月号

株式会社福地建装

上磯町中野通321番地

TEL0138-73-5558

十勝沖地震発生！「ファースの家」への影響は？

9月26日午前4:50、北海道の釧路沖を震源とする強い地震が発生。釧路や十勝などの道東と日高管内で震度6弱を観測、そして、同日午前6時過ぎにも強い余震がありました。この地震により、津波も押し寄せ被害が相次ぎました。

この釧路管内では、約50棟の「ファースの家」が存在しており、至急ファース本部では、現地の加盟店やファースユーザー様への状況確認をいたしました。その状況は、一般住宅では天井が落ちたり、外壁に亀裂をできるなどの一部損壊があったようですが、「ファースの家」については、全く被害がなかったとのこと。これも、ファース専用断熱材「エアライト」による、地震力への吸収効果が大きな要因と考えられます。

なお、今回の地震にのみならず、今年5月の宮城県沖地震や平成5年に北海道で発生した南西沖地震（奥尻沖）の際も、「ファースの家」は全く被害がありませんでした。温熱環境の快適性と地震にも強い！それが「ファースの家」です！

「ファースの家」をより快適に

真夏を思わせるほどの残暑も落ち着き、いよいよ本格的な秋となり、北海道や東北地方においては、朝晩の気温が10以下になる日も、多くなって参ります。そして、そろそろ暖房器の電源をお入れになるご家庭もあることと思います。

「ファースの家」は、皆様ご承知の通り、オール電化住宅ですので暖房は蓄熱式電気暖房器（以下蓄熱暖房器）です。蓄熱暖房器は、前日に蓄熱量を設定し、深夜電力で熱を溜め込み、その熱を放熱し、居住空間を暖めます。

ここで、問題なのが通電を開始するタイミングです。

【通電を開始するポイント】

天気予報の予想最低気温（目安は10前後）をチェックし、翌朝が低温になりそうな場合、居間の暖房器から蓄熱量を上げていきましょう。ただし、今時期は日々最低気温の増減がありますので、こまめにチェックしてください。

蓄熱暖房器をご使用する前に、必ず電源ブレーカーを入にしてください。

子供の個室を孤独の孤室にしないために

土足で家の中に入る外国人と、靴を脱いで家に入る日本人。黙して語らず、わびさびを知る日本人。子供が生まれた瞬間に、子供部屋で寝かせる外国人と、川の字になって寝る日本人など、同じ人間でも生活様式が違います。

外国からドアの文化が入ってきて、日本古来の障子や襖の文化が薄れてきました。もともと日本の住宅は、障子や襖といった、紙一枚で仕切られた住宅の中で生活する事により、見ちゃいけない、聞いちゃいけない、騒いじゃいけないなどの思いやりや優しさが、生活するうえで生まれてきたのではないのでしょうか。プライバシーの侵害という舶来の言葉が日本に入ってきたころ頃から、外国のドアの文化が入ってきて、完全にシャットアウトしてしまう空間ができてきたのではないのでしょうか。家には、部屋ごとに鍵がかけられ、携帯電話もテレビもある、ご飯はコンビニで買ってくるといった子供にとっては、孤独の個室をつくってしまったのかもしれない。その結果、会話がなくなり、人間形成に必要な大人との時間がなくなってしまったのではないのでしょうか。

お客さんが遊びに来ている時に、自分の子供がいい子でいて欲しく、良く思われたいがために、「ちゃん静かにしてね。お部屋でテレビでも見ていてね」と閉じ込めてしまう。仕事から帰ってきて、「疲れた。会話をしたり遊ぶのが面倒くさい。」だからゲームを与えて部屋に閉じ込めてしまう。

そして、気が付いた時には、部屋から出てこない、会話のない家族の状態になっていた・・・という結果がないとは言いきれないような気がします。

日本古来の障子や襖のある家で、家族がオープンで居れる、そんな空間が今また求められているのではないのでしょうか。